

# 中山大學

## 二〇〇五年攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 354

科目名称: 基础日语

考试时间: 1月23日上午

### 考生须知

全部答案一律写在答题纸上,  
答在试题纸上的不得分! 请用  
蓝、黑色墨水笔或圆珠笔作答。  
答题要写清题号, 不必抄题。

### 一、下線部の漢字に振り仮名をつけなさい。(計10点)

- (1) 北海道の秋はまるで別様の秋である。実りの秋であるから生産と活動と生命と若さと建設とに結ばれる。それは明朗で潑刺として、収穫と狩獵との秋である。
- (2) 今日老人を敬う気持ちが磨れている。
- (3) それを一つの音に没入することのできる耳、あるいは閑寂の緊張を知る耳といってもいいだろう。
- (4) そこでせがれがその冒険の一部始終を語り終わったとき、父は言った。
- (5) 姥捨山の棄老伝説というものは、少しずつ細部が変って何種類か流布されているらしいが、私が知っているそれは、全くこの絵本に依ったもので、それをなんら修正することなしに今日まで持ち続けている。
- (6) ここは召使い風情の来るところではない。
- (7) 年頃の子供にとっては親の存在がときには煩わしく感じられるものだ。
- (8) 王さんは彼に対する憎惡の念を捨て去ることができなかった。
- (9) 岩の間から滴り落ちる水滴のように、それが私の心に滲み入って来たのである。

### 二、次の語句の片仮名を漢字に改めなさい。(計10点)

- (1) 旅行資金をなんとかチョウタツした。
- (2) あの映画監督もハリウッドに行って以来すっかり大衆の好みにゲイゴウするようになった。
- (3) それは彼のシワザに相違ない。
- (4) ある夕方、私は一人、門の前で遊んでいると、見知らぬ老人がそこへ来て立った。眼の落ちクボんだ、猫背のなんとなく見すばらしい老人だった。
- (5) 都会生活にミレンはない。
- (6) 彼の書いた草書はガリュウだ。
- (7) 田中先生に論文をテンサクしていただきました。
- (8) 神々に生け贄をタテマツる。
- (9) 「あなたの旦那様は何かお勤めを持っていらっしゃるのですか」と、農家の老主婦が妻に向って、ウキヨバナシの間に訊ねたそうである。
- (10) 西の空に沈む夕日はメイジョウしがたいほど美しい。

### 三、次に掲げた言葉の中から適当なものを選んで、それぞれ( )の中に書き入れなさい。(必要な場合は適当な活用形にして)(計10点)

なじむ    そもそも    さりげない    心もち    さっと    すっぱり  
のそのそ    振り回す    おぼしい    一向    さげすむ    びっしり



ぽつぽつ　むずがゆい　ふざける

- (1) 彼のお父さんと( )人が出てきて挨拶した。
- (2) 村は( )雪に覆われた。
- (3) 二年目になって、ようやくこの町に( )できた。
- (4) 少年は、油虫のそろそろうごめく、( )感触を、むしろ楽しんでいました。
- (5) その薬を飲んだが、( )によくない。
- (6) とかく役人は権力を( )たがるものだ。
- (7) ( )芸術というものの本質はイリュージョンにある。
- (8) 眼鏡が光りますから、お顔を( )お下げになってください。
- (9) 身なりを見ただけで人を( )のはよくない。
- (10) 来週は予定が( )詰まっています。

四、次の文の下線をつけた言葉の意味について説明しなさい。(計 25 点)

- (1) 父親を失ってからの彼は店の仕事に精を出すようになった。
- (2) 真正面から走ってきた自転車をよけたはずみに、足をどぶの中に突っ込んでしまった。
- (3) 落第することはあるまいと彼は高をくくっていた。
- (4) 彼の言葉は山本君への当てこすりだ。
- (5) 蛙の飛び込んだ水の音、束の間の余韻、そのかすかな聞き取りがたいものを追って耳は限りない静寂に出会っていく。
- (6) 彼は役人あがりの実業家である。
- (7) 刑事は初めからその女性が誘拐犯だと目星をつけていた。
- (8) 彼の話を聞くと身につまされて涙がこぼれた。
- (9) その父が若いころ、ほんの気まぐれにせよ尺八を吹いて風音を立てていたということがどうにもおかしいのである。
- (10) 地震で家を失い一家は遠い親戚に身を寄せるほかなかった。

五、次の(1)から(10)の言葉の意味と同じものを、それぞれa～dの中から一つ選びなさい。(計 10 点)

(1) 気負い立つ

- a. いやなことや気にかかることがあって暗い気持ちになる。
- b. 緊張が続いていらいらする。
- c. 好ましくない結果が予想されたり何かを負担に感じたりして、気持ちが沈む様子。
- d. 勇気を起こして意気込む。

(2) 度肝を抜く

- a. 心配事や悩み事のために、あれこれと心を痛める。
- b. この上もなくびっくりすること。
- c. はなはだしく人を驚かすこと。
- d. 危うく危険な目にあいそうになり、思わずぞっとする。

(3) 伺いを立てる

- a. 目上の人に指示・説明をあおぐ。
- b. 質問する。
- c. 関心を持つ。
- d. 考えを求める。

(4) 物心つく

- a. 自分の思い通りになる。
- b. 芸ごとにすぐれている。
- c. 物事に思いふける。

d. 世間の有様や人情などを理解する。

(5) 道草を食う

- a. 先に立って、後に続く人々に進むべき方向を示す。
- b. ある場所に向う途中で、他の事をして時間を費やす。
- c. 道理にはずれた。
- d. 本筋から横道へそれる。

(6) 肩身が広い

- a. 他人に対してひけ目を感じている様子。
- b. 義務を果たし、重い責任や負担から解放される。
- c. 世間の人々に対して誇らしい気持ちが抱けることである。
- d. その人に味方して、支持したりかばったりする。

(7) ひとたまりもない

- a. みっともない。
- b. 長続きしない。
- c. ほんのしばらくもちこたえることができない。
- d. 価値がない。

(8) 間が抜ける

- a. その場の具合が悪い。
- b. ばかげてみえる。
- c. 時日がたつ。
- d. 安心する。

(9) 身に余る

- a. 何かを体験して、ある感情が心に強くわきあがる。
- b. 緊張したり恐縮したりする様子。
- c. 自分の身分や立場として、十分すぎる様子。
- d. 自分の身分や能力の程度をわきまえず、それ以上のことを望んだりしようとしたりする様子。

(10) 気を持たせる

- a. 期待を抱かせる。
- b. なんとなく気になる。
- c. 注意が届く。
- d. 関心が起こる。

六、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(計 30 点)

難しい漢籍を習う前から親しんでいた①しょもつには、どんなものがあったか、ちょっと思い出せない。漫画や絵本のたぐいであつたにはちがいないが、はっきりした印象は残っていない。ただ一つの②めいりょうな記憶は、『子どもの友』に関するものである。

この本はいつも、茶の間の母の机の上にあつて、兄弟たちはかわるがわる読んだものだ。

考えてみると、この本には、いくらか修身の教科書めいたところがあつた。[ ] 家庭内の子どものしつけばかりではなく、社会生活に必要な③きりつを身につけさせようとする④はいりょうがなされていた点で、当時の道徳の通念とは著しく違っていた。しかもそういう内容の雑誌を、私どもは面白いと思って読んだのである。①作る側の苦心は、大変なものであつたろう。

本の中に出て来る男の子の名前は、いつも上太郎、中太郎、下太郎であつた。女の子は甲子、乙子、丙子。——この名前だけ見れば、②もう敬遠したくなるような気がする。が、男の子三人、女の子三人をしばしば登場させて、日常生活のしつけを面白く読ませる力は、今から思う



と平凡であった。

ときにはその本の内容について、母に向かって質問することもあった。

「これ、どういうこと？」

すると母は、何をしているときでもすぐに仕事の手をやめた。③これは子どもに対する親の態度として、④大変なことである。

「あ、それ……？」

決して、あとで教えてあげるなどとは言わなかった。私をまっすぐに見つけながら、直ちに正確な説明をしてくれた。そういうときの母の目が、⑤子どもごろころにもなんと美しく見えたことか！

私たち兄弟は、自分たちの気づかぬ間に、この本の影響をうけたようである。そしてこの本に親しめる要素を、私たちの中に植え付けたのは、多分に母の力であったように思われる。

母は子どもたちを、みな学者にするつもりだった。——それを、私は子どもの時から意識していた。母の苦心がなければ、私たち兄弟のように学問ばかりやる者の一族は、生まれて来なかったであろう。

問い一、①～④の \_\_\_\_\_ の仮名を漢字に改めなさい。(8点)

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

問い二、 にあてはまる語を次から記号で選びなさい。(2点)

①そして ②しかし ③つまり ④しかも

問い三、\_\_\_\_ 線部①「作る側の苦心」の、もっとも大きなものはどんなことであったか、本文中より十六字を抜き出して書きなさい。(4点)

( \_\_\_\_\_ )

問い四、\_\_\_\_ 線部②「もう敬遠したくなるような気がする」のは、なぜなのか、次の中から適当な理由を a～d の中から選びなさい。(4点)

- a. 名前があまりにもいいかげんな感じでふまじめだから。
- b. あまりにも画一的で、無性格的人物ばかりであるから。
- c. 上、中、下、甲、乙、丙と成績評価される感じだから。
- d. 修身の教科書に出てくる人物ばかりで窮屈だから。

問い五、\_\_\_\_ 線部③「これ」の指す内容を示しなさい。(4点)

( \_\_\_\_\_ )

問い六、\_\_\_\_ 線部④「大変なことである」はどんな意味か、次の中から適切なものを a～d の中から選びなさい。(4点)

- a. とても少ない。
- b. とても真剣なこと。
- c. とても面白いこと。
- d. とても立派なこと。

問い七、\_\_\_\_ 線部⑤「子どもごろころにもなんと美しく見えたことか！」と感嘆したのは、母のどのような心を感じ取ったからか、次の中から適当なものを a～d の中から選びなさい。(4点)

- a. たとえ子どもであっても真剣に相手をする。
- b. 将来、学者になるべき素質を見抜く。

- c. 子どもが何を望んでいるか直感的に見抜く。
- d. 子どもを何としても学者にしたい。

七、次の古典を現代日本語に訳しなさい。(計 15 点)

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のこころをあらはす。おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もつひには滅びぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。遠く異朝をとぶらへば、秦の趙高、漢の王莽、梁の朱异、唐の禄山、これらはみな旧主先皇の政にも従はず、楽しみをきはめ、諫めをも思ひ入れず、天下の乱れむことを悟らずして、民間の憂ふところを知らざりしかば、久しからずして、亡じにし者どもなり。近く本朝をうかがふに、承平の将門、天慶の純友、康和の義親、平治の信頼、おごれる心もたけきことも、みなとりどりにこそありしかども、まちかくは、六波羅の入道前の太政大臣平朝臣清盛公と申しし人のありさま、伝へ承るこそ心もことばも及ばれぬ。

(『平家物語』による)

八、次の日本語を中国語に訳しなさい。(計 25 点)

書齋でものを調べていると、思わぬ人物に遭遇したりする。無論、歴史上の人物である。芝居で言えば、主役ではなく、脇役のような人、あるいは脇役ですらなく、舞台(この場合、歴史といってもいい)の上手から下手へずっと一度だけ通りすぎてしまうだけの人に出くわして、この人物はいったいどういう人なのだろうと、ひどく気になったりする。おそらく気になるだけの何かの霊気のようなものを、その人物がもっているのかもしれない、そうとしか思いようがないのは、最初わたしの前に現れるときは、名前だけでしか現れないからである。顔も分からず、出身地も身分も経歴も思想も分からず、名前だけが、記録のすみにちらりと出ている。同時に出てくる他の人名が気にならず、その人名だけが気になるというのは、やはりどこか、その人物に名状しがたい何かがあるのではあるまいかと思う。少し大げさだが、その何かを、仮にその人物がもっている霊気といってもいい。というと、変に宗教めくが、わたしの書齋での作業というのは、そうした気分のものなのである。

九、次の中国語を現代日本語に訳しなさい。(計 15 点)

- (1)在这大典前夕，圣武天皇一直在盼望着一个人的到来。
- (2)朝鲜族人能把东西顶在头上走路。
- (3)对不顾村民的意见而强行通过的决议，我打算反对到底。
- (4)小泽会长起早摸黑，也不休息，精神抖擞地工作着。
- (5)科长是一位说干就干，很有魄力的人。